教授

# 鳴海 大典

ナルミ ダイスケ

大学院環境情報研究院　社会環境と情報部門
大学院環境情報学府　人工環境専攻
都市科学部　環境リスク共生学科
narumi-daisuke-rs@ynu.ac.jp
http://www.narumi.ynu.ac.jp/index.html
https://orcid.org/0000-0003-0163-565X


工学
建築学

建築環境・設備

持続可能都市
エネルギーシステム
ヒートアイランド
低炭素社会
文理融合

## [研究概要]

人間活動を維持するためにはエネルギーを消費しなければなりません。しかしながら、エネルギーを消費することは資源枯渇や地球温暖化などの地球規模の環境問題を引き起こすだけでなく、ヒートアイランド現象や大気汚染などの地域(都市) 規模の環境問題も引き起こします。

鳴海研究室では、持続可能な地球を維持しつつ、快適な都市環境を実現するために、これから構築していくべきエネルギーシステムの在り方やその利用に関わるリテラシーを明らかにするための研究教育を行なっています。

## [アドバンテージ]

鳴海研究室の所属する人工環境専攻(社会環境および環境学プログラム) は、経済学や心理学などの社会科学と環境学が融合することで、革新的技術を活かして経済的成果を確保すると同時に、環境とも調和するイノベーションの推進を図るユニークな教育・研究を展開しています。

鳴海研究室でもこの特徴を活かし、工学的な技術評価のみならず、政策展開を視野に入れ経済性や受容性も踏まえた評価を行う文理融合型の研究教育にチャレンジしています。

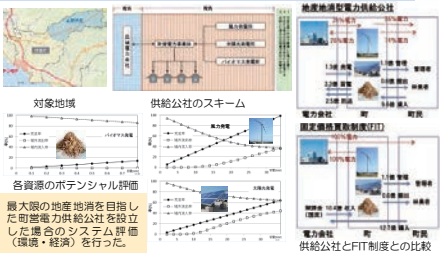
## [事例紹介]

最近の研究テーマ

- 農山村の地域再設計を視野に入れた低炭素化対策に関する研究(研究例の上図参照)
- 省エネ行動の意思決定構造の分析および行動促進を目的としたアプローチ
- 「環境エネルギーまちづくり」を通じた地域社会イノベーション
- 新興国の業務施設を対象とした省エネルギー対策
- スーパーマーケットのエネルギー消費に関する研究
- 地球・都市温暖化が都市生活に与える影響とその回避シナリオ(研究例の下図参照)

## 研究例（都市エネルギーシステム）

農山村では地産地消電力事業が成り立つか？

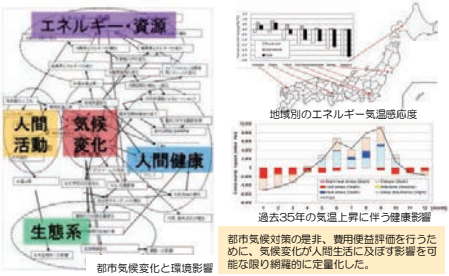



最大限の地産地消を目指した町営電力供給公社を設立した場合のシステム評価（環境・経済）を行った。

供給公社とFIT制度との比較

## 研究例（都市環境評価）

都市では暑くなるとどんな問題が起こるのか？




都市気候変化と環境影響

都市気候対策の提非、費用便益評価を行うために、気候変化が人間生活に及ぼす影響を可能な限り網羅的に定量化した。

## ■ 相談に応じられるテーマ

エネルギー消費行動と心理
持続可能な都市・建築設計
エネルギーイノベーション
技術の社会適応マネジメント
ヒートアイランド対策システム

## ■ 主な所属学会

日本建築学会
空気調和・衛生工学会
エネルギー・資源学会
日本ヒートアイランド学会

## ■ 主な論文

『都市における屋外気温変化が多種の疾患に与える影響の総合評価』「日本建築学会環境系論文集 84巻 756号」2019
『電力供給量の気温感応度に関する地域・経年特性』「日本建築学会環境系論文集 83巻 754号」2018
『電力消費量に影響を与える住生活に関連するライフスタイル要因 ―HEMSを標準設置した全電化集合住宅を対象として―』「日本建築学会環境系論文集 83巻 751号」2018

## ■ 主な著書

「健康に暮らすための住まいと住まい方」技報堂出版(株) 2013
「健康維持増進住宅のすすめ　―なぜ今、住まいの健康か」(株) 大成出版社 2009
「ヒートアイランド対策　―都市平熱化計画の考え方・進め方―」(株) オーム社 2009
「ヒートアイランドの対策と技術」(株) 学芸出版社 2009

## ■ 主な地域活動

環境審議会委員（町田市）
地球温暖化防止推進地域計画策定委員会委員（豊中市）
ヒートアイランド対策検討委員会委員（大阪府）



共同研究についてのご相談　sangaku.sangaku@ynu.ac.jp